日本中央アジア学会年次大会プログラム

■概要

日程：2014 年 3 月 27 日（木）～ 3 月 29 日（土）
場所：藤沢市片瀬海岸 1-7-23
会場・宿舎：KKR 江の島ニュー向洋

■プログラム

3 月 27 日（木）

KKR 江の島ニュー向洋に集合
親睦会

3 月 28 日（金）

＜午前の部＞

チャガイ・アリョーナ Chagay Alena（名古屋大学国際開発研究科博士課程）
「ウズベキスタンのコリョサラムのホスト社会における「社会関係資本」
――ロシアと韓国への移住を事例に――」

ヌルマンベトワ　アクベルメット Nurmanbetova Akbermet（筑波大学大学院博士後期課程）
「キルギス共和国における日本の外交政策に関する一考察
――JICA プロジェクトを事例に――」

中屋 昌子（同志社大学大学院博士後期課程）
「新疆ウイグル自治区における「イスラーム復興」および宗教統制の構造と近年の新たな展開について」（仮題）

河野敦史（中央大学大学院博士後期課程）
「清代ハーキム・ベクとムスリム社会との関係に関する一考察
――アフマド・ワン・ベクを中心として――」（仮題）

＜午後の部＞

ウスモノフ・ファルフ Usmonov Farrukh（筑波大学大学院博士後期課程）
“Shanghai Cooperation Organization: Russian view on Iran’s candidacy”

トフタミルザエヴァ・マシフラホン Tukhtamirzaeva Mashkhurakhon（東京外国語大学大学院博士後期課程）
「現代ウズベキスタンの教育事情
――ナマンガンでの現地調査から――」

長沼秀幸（東京大学大学院修士課程）
「ロシア帝国によるカザフ草原統治政策の地域性
――仲介者が示す「忠誠」の分析を通して――」

ヒクマトラエフ・ジャスル　Khikmatullaev Jasur（東京外国語大学大学院博士後期課程）
「19 世紀末～ 20 世紀初頭のトルキスタンにおける社会問題
――特に人生儀礼（Hatna, To‘y, Aza）について――」

3 月 30 日（土）

＜午前の部＞

公開パネル・セッション
「資源管理から見る帝国統治と中央アジア
――土地・家畜・水・人――」

司会：小松久男（東京外国語大学総合国際学研究院特任教授）

主旨説明：秋山徹（早稲田大学イスラーム地域研究機構研究助手）

野田仁（早稲田大学イスラーム地域研究機構次席研究員・研究院講師）
「帝国が見るカザフ遊牧民の土地と家畜
――19 世紀の紛争解決の事例から――」

小沼孝博（東北学院大学文学部准教授）
「清朝治下の東トルキスタンにおける政治権力と在地商人」

塩谷哲史（筑波大学人文社会系助教）
「水資源と開発をめぐるロシア帝国権力と中央アジア南部定住地域」

秋山徹（早稲田大学イスラーム地域研究機構研究助手）
「人的資源から見るロシア帝国の中央アジア統治
――ジギトを中心に――」

コメンテイタ：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター教授）

※ NIHU プログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点の共催

日本中央アジア学会総会